

令和3年度 授業改善推進プラン 教科名（美術）

<p>学習状況と 課題分析</p>	<p>授業に落ち着いた態度で取り組み意欲的である。コロナ感染症対策のため、グループ協議が思うようにできないが、プリントを活用するなど、生徒同士の意見を深める授業工夫を行っている。制作に対して自信のない生徒もいるが、意欲的に学習に取り組めるような課題を設定し、ICT 機器を利用し、授業の工夫を行い、美術に関心をもつ生徒を育てる。</p>	
<p>授業改善に向けての取組</p>	<p>知識・技能</p>	<p>表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通して、知識・技能に関することを以下の点を踏まえ指導していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解できるように、さまざまな材料や作品に触れさせ、感じ取ったことをプリントワークやグループワークなどを通して確認していく。</li> <li>○材料や用具の生かし方などを身に付けるために、実物投影機や動画等を通して具体的なイメージを持たせ、活動させていく。</li> <li>○材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもてるよう視覚的教材を準備する。</li> </ul>
	<p>思考・判断・表現</p>	<p>対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、創造したことなどを基に主題を生み出し、全体との部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練られるよう、以下の点を踏まえ指導していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作品に対しての考えや思いを述べさせ、どのような意図で制作していったかの過程も見ていく。</li> <li>○世界の様々な作品を映像等で鑑賞を行い、様々な地域、時代によって多種多様な表現方法があることに気付かせる。</li> <li>○お互いの作品を鑑賞し、評価し合うなかで作品に対する理解を深めるとともに、様々な表現方法があることを知り、表現の幅を広げられるよう指導する。また、表現方法が素晴らしい作品については掲示し、他学年の生徒にも今後の参考になるようにする。</li> </ul>
	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとする態度を育成するため、以下の点を踏まえ指導していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入における効果的な参考の提示で創作意欲を刺激する。</li> <li>○楽しく美術の活動に取り組めるよう、生徒一人一人の考えを認め大切にし、制作に対して意欲をもたせる。</li> <li>○身近なものから、歴史的な美術作品を通して、美術が我々の生活においてどのような働きかけをしているか、各課題の導入部分を工夫し、生徒が興味・関心をもてるよう指導する。</li> <li>○自己評価表を用い、作品制作後に反省を行い、次の課題への意欲を高めさせる。また、生徒同士お互いの作品を見ることで、他者の良さを認め、今後の自身の表現の幅を広げられるよう指導を行っていく。表現の工夫については善悪について理解し、人を不快にしないように配慮する必要があることを指導する。</li> </ul>